

介護ロボット導入効果報告書

1年目 2年目 3年目 最終

令和3年5月18日

沖縄県知事様

令和2年度に導入した介護ロボットについて、導入効果を報告します。

〒901-1203

住所 沖縄県南城市大里字大城1392番地

事業主体名 社会福祉法人 憲章会

代表者職氏名 理事長 石島



事業主体名（法人名等）		介護サービス事業所名		介護サービスの種別	
社会福祉法人 憲章会		東雲の丘認知症対応型共同生活介護事業所		認知症対応型共同生活介護	
介護ロボットの種別			介護ロボットの製品名		
コミュニケーションロボット			コミュニケーションロボット PALRO		
導入時期	導入台（セット）数	購入日	リース・レンタルの契約期間		
令和2年 10月 26日	1	令和2年 10月 7日	年	月	日から 年 月 日まで

【目標の達成状況】

①達成項目（複数選択可）

- 身体的負担の軽減
- 心理的負担の軽減
- 介護時間の短縮
- 業務の効率化
- その他（ ）

②達成内容

※介護ロボット導入により達成すべき目標（3年間目処）がどの程度達成できたのかについて、数値指標を用いて記載すること。

アンケートによる職員の評価（12名にアンケートを行いました）

- ①心理的負担の軽減・・・大いにある 10人 約80%
- ②介護時間の短縮・・・多少感じている 6人 約50%
- ③業務の効率化・・・大いにある 10人 約80%

※3つの項目全てで半分以上の効果を実感している。

【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】

※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ・余暇活動としてレクや体操に集中して取り組むことができている。
- ・生活リズムへの取組につなげることができた。
- ・週2回（木・土）で組み入れている。

【介護ロボットの導入効果（使用する業務・使用頻度等）】

※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。

- ・入居者はパルロに興味を示し、ユニットメンバーで行うレクや体操に集中することができた。入居者から「パルロはよくわかるね（物知り）すごさー、楽しいね」と声が聞かれた。職員から「パルロが進行してくれるので助かる」と負担軽減を感じている。

【介護ロボットの不都合な点の課題】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・パルロ立ち上げ時、終了時の操作に時間がかかる。（操作を誤ってしまうと故障につながる）
- ・取扱いに気をつかう。
- ・コミュニケーションロボットとして活用もしていきたいが、入居者様によっては方言で話す方もいるため、パルロが聞き取れない事が多い。

※1年目の提出時には下記も作成してください

【介護ロボット本体の写真】

※介護ロボットの形状がわかる写真を添付、行の大きさは変更して構いません



【介護ロボット使用状況の写真】

※実際にベッドや居室に整備した写真、介護ロボットの使用状況の写真を添付。ホームページに掲載しますのでプライバシーの保護に十分配慮してください。

